

JENESYS2020 日カンボジア・オンライン交流 (日本文化)の記録

1. 概要

【目的】カンボジアの青少年が、同世代の日本人学生との交流や日本文化の体験等を通して、日本の伝統文化、最先端技術、食、ファッション等の多角的に幅広い対日理解を深化させることを主目的に本プログラムを実施しました。

【参加者】カンボジアの大学生 計 47 名

【訪問地】 福岡県、東京都、北海道

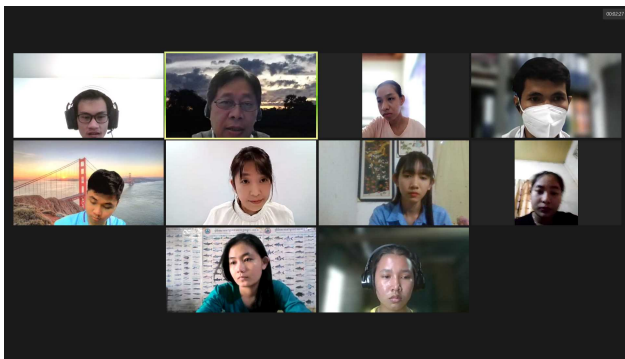
【日程】

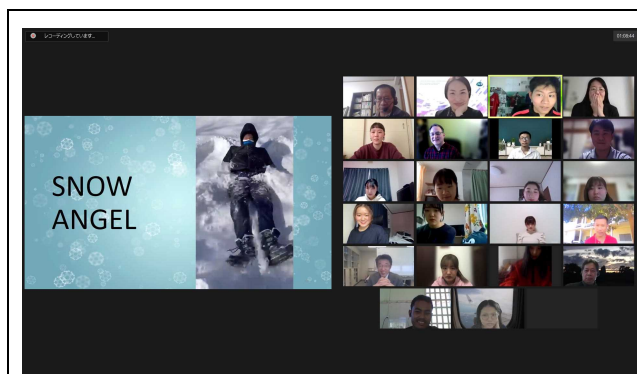
日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の 2 日間の参加人数：37 名		
2021 年 6 月 30 日 福岡県	【学校交流】 公立学校法人福岡女子大学（福岡県）14 名 1. 受入れ校（日本側参加校）学校紹介 2. グループ交流での日本文化紹介及びディスカッション 3. グループ発表	グループ交流では、互いの伝統文化や若者の文化について積極的に質問し合い、相手国について理解を深めていました。
2021 年 8 月 4 日 東京都	【日本文化体験】 「オンライン茶道稽古」 講師：裏千家教授 河田 宗愛氏・船越宗英氏 1. 講師挨拶 2. 講義「茶道の歴史、茶事について」 3. 講師による実演、バーチャル茶道体験 4. 質疑応答・感想発表	日本の伝統文化である茶道の講義を受け、日本文化への理解を深めていました。参加者から、「訪日への意欲が更に増し、日本に行く際には実際に茶道体験をしたい」とのコメントがありました。
以下 6 日間の参加人数：10 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022 年 2 月 10 日 ～	【動画視聴】 1. ホームビジット体験 2. 広島ピースツアー	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022 年 2 月 16 日	【オリエンテーション】【ウェビナー・交流】	日本理解講義では、地理・機構、日本人の特徴、交通手段、習慣・伝統、食文化・居住

東京都	1. 自己紹介（グループ別） 2. 日本理解講義・質疑応答 「日本社会と文化」 講師：アンドラディ 久美氏 3. カンボジアの JDS 留学生※のプレゼンテーション 「日本での留学生活について」 発表者：フン スレイ パウ氏 4. グループ別交流 ※人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship：通称 JDS）：政府の「留学生受入 10 万人計画」の下、実施されている無償資金協力による留学生受入事業。	環境など日本を初めて訪問する人にとって基礎知識が習得できる機会となりました。 参加者からは、「日本が自然災害から国民を守るための政策」「時間厳守などの良い習慣を身に付けるためにどのようなことをしているのか」「日本で多宗教を受け入れている理由とその背景」など多岐に渡る質問がありました。 カンボジアの JDS 留学生からも、日本での生活についてのプレゼンテーションがあり、参加者は興味をもって聞き入っていました。
2022 年 2 月 17 日 北海道恵庭市	【地方企業視察・交流】 1. 講義 「すべては食べ物から始まった-すべての問題は持続性と SDGs につながっている」 講師：株式会社アレフ SDGs 推進委員会委員長 エコチームリーダー 高田 あかね氏 2. グループ別交流	本講義では、食から SDGs につながる同社独自の取り組みとして、直営またはフランチャイズ店舗のレストランから出る生ごみを資材・堆肥化し、近隣農家がその肥料を使って野菜の生産などに活用するという実例が紹介されました。食品廃棄物の削減と循環型農業の一助となっていることを知った参加者は、日本における環境配慮の取り組みについて高い関心を示しました。
2022 年 2 月 18 日 北海道札幌市	【学校交流】 東海大学札幌キャンパス（北海道）12 名 1. 東海大学の発表 2. 参加者の発表 3. グループ別交流	カンボジアの参加者からは「今、雪が実際に降っているのか」と質問があり、日本の学生が窓から直接景色を見せるなどの交流がありました。 日本の学生からは、カンボジアのプレゼンで触れられた伝統楽器について、まったく知らなかった、とても興味深かったとの声が聞かれました。 グループ別交流で互いの SNS 情報を交換するなど、今回の交流が今後の交流にもつながるきっかけになりました。
2022 年 2 月 21 日 東京都	【ワークショップ】 1. プログラムの振り返り 2. アクション・プラン策定、発表準備	プログラム全体を通じた学びから、各グループに分かれてアクション・プランを策定し、報告会に向けて発表の準備を行いました。

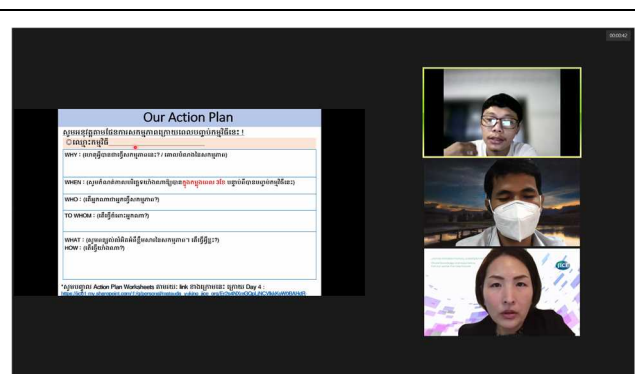
2022 年 2 月 22 日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	プログラム後 3 か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。
---------------------------	--------------------------------------	---

2. 記録写真

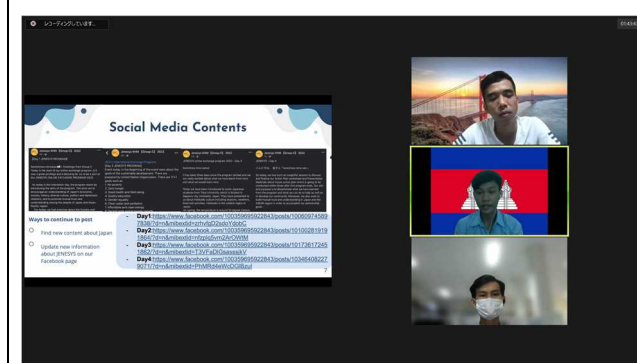
		
2021 年 6 月 30 日【学校交流】福岡女子大学との交流		2021 年 6 月 30 日【学校交流】福岡女子大学との交流
		
2021 年 8 月 4 日【日本文化体験】講義の様子		2021 年 8 月 4 日【日本文化体験】質疑応答・感想発表
		
2022 年 2 月 16 日【ウェビナー・交流】JDS 留学生のプレゼンテーションの様子		2022 年 2 月 17 日【地方企業視察・交流】グループ別交流で環境問題やリサイクルに関連する質問をする参加者



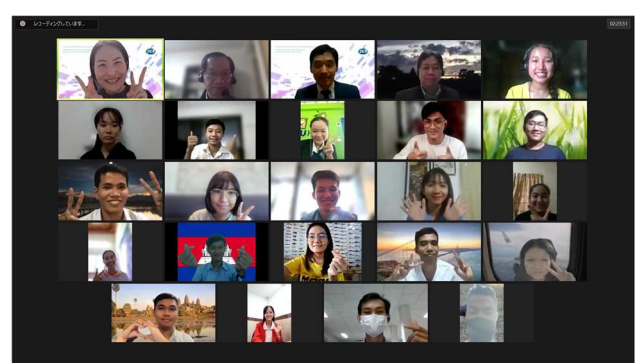
2022 年 2 月 18 日【学校交流】東海大学の学生によるプレゼンテーション



2022 年 2 月 21 日【ワークショップ】アクション・プランを作成する様子



2022 年 2 月 22 日【報告会】アクション・プランの発表をする参加者



2022 年 2 月 22 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加大学生

プログラムに参加でき、素晴らしい機会をいただきました。フレンドリーで素敵な日本人と交流することができました。また、カンボジアと日本の両国で起きている様々な議題について意見交換をすることができました。このような活動にまた参加したいと思います。プログラムで知り合った人たちと連絡を取り合いたいです。

◆ 参加大学生

カンボジアから日本へ、日本からカンボジアへ、文化や知識を交流させることができ、大変胸が高鳴りました。

◆ 参加大学生

個人的な意見ですが、オンラインプログラムは、日本や他国の文化について気軽に学ぶことができるのでよいと思います。どのような方法（対面でもオンライン）でも、文化を共有することができるプログラムは素晴らしいと思います。私たちが相手国をよく知ることで、互いがより身近に感じるようになるからです。ありがとうございました。

◆ 参加大学生

プログラムはとても素晴らしく、一部ではありますが、伝統や歴史を知ることができました。

◆ 参加大学生

JICE の働きかけによってこのような機会を持つことができ、大変満足しています。このプログラムが対面で、日本にて実現されることを願います。

◆ 参加大学生

このプログラムは私の期待以上でした。プログラムへの改善点はなく、実際にプログラムの調整や運営プロセスを学ぶことができてとても嬉しかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校 学生

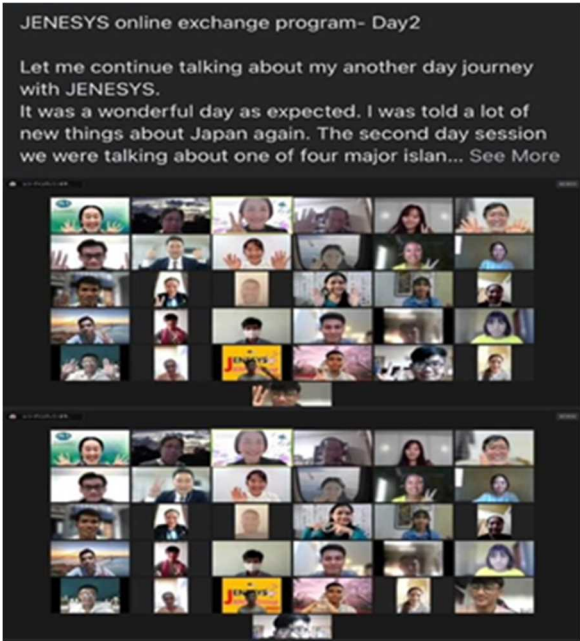
カンボジア国内では日本がどう思われているのかを聞くことができ、日本を客観的に考えるきっかけになりました。

◆ 交流校 学生

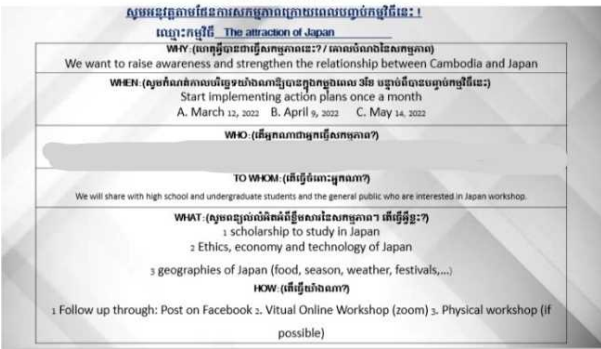
カンボジアの皆さんが積極的に話しかけてくれて嬉しかったです。

5. 参加者の対外発信

2021 年 7 月 1 日（Facebook） 素晴らしい方たちと素晴らしい時間を過ごせました！	2021 年 7 月 1 日（Facebook） 日本文化体験に参加しました。 “日々是好日”

	2022 年 2 月 17 日 (Facebook) JENESYS オンライン交流プログラム (2 日目) JENESYS について伝えさせてくださいね。この日も期待通りの素敵なものでした。日本について多くの新しいことを学ぶことができました。2 日目は、日本の主な 4 つの島についての話がありました。
---	---

5. 最終報告会でのアクション・プランの発表

グループ 1	
	「日本の魅力」 ■ 実施理由：カンボジア・日本の関係についての関心を高め、強化したいからです。 ■ 実施時期：2022 年 3 月 12 日、2022 年 4 月 9 日、2022 年 5 月 14 日 ■ 実施する者：グループのメンバー ■ ターゲット：中学生、高校生、および日本に関するワークショップに関心のある一般の方々 ■ 実施計画： 1 日本への留学に関する奨学金の説明 2 日本の道徳、経済、科学技術について 3 日本の地政学（食、季節、気候、祭りなど） ■ 実施方法： 1 Facebook での発信を続けます 2 Zoom を利用したオンライン・ワークショップ 3 可能であれば対面のワークショップ

